



So-net M3

(財)財務会計基準機構会員

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月23日

上場取引所 東

上場会社名 ソネット・エムスリー株式会社
コード番号 2413 URL <http://www.so-netm3.co.jp/>代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 谷村 格
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 永田 朋之

TEL 03-5408-0800

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	5,001	22.1	2,077	11.8	2,058	4.5	1,187	11.7
21年3月期第2四半期	4,094	—	1,858	—	1,970	—	1,063	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	4,539.63	4,514.29
21年3月期第2四半期	4,072.51	4,017.00

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	13,966	10,576	73.7	39,323.95
21年3月期	12,542	10,214	80.0	38,331.94

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 10,290百万円 21年3月期 10,030百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	3,300.00	3,300.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注) 現時点において、平成22年3月期の配当予想額は未定です。今後の資金需要動向とキャッシュ・フローの状況とを勘案し、株主配当の水準を決定する予定です。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	34.7	4,800	20.3	4,800	15.1	2,700	14.2	10,318.02

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

(注) 1株当たり予想当期純利益については、平成22年3月期第2四半期連結累計期間中平均株式数261,678株に基づいて算出しています。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 メビックス株式会社) 除外 1社 (社名)
(注) 詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
(注) 詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無
(注) 詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|----------|-------------|----------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第2四半期 | 261,690株 | 21年3月期 | 261,666株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第2四半期 | 0株 | 21年3月期 | 0株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第2四半期 | 261,678株 | 21年3月期第2四半期 | 261,027株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間において、引き続き医療従事者専門サイト「m3.com」の基盤強化を進め、医師会員は6千人増加の18万人に達しました。

既存サービスについては、顧客への各サービスの浸透も進み、順調に推移しました。製薬会社向けのマーケティング支援サービスは、国内主要製薬会社のほぼ全社が既にご利用されている基本的な「提携企業」サービス、会員医師に対してメールで直接アプローチする「m3MT」サービス、「m3.com」のプラットフォーム上で会員医師が主体的、継続的に高頻度で情報を受け取れる「MR君」サービスと、意図や用途により選べるサービスメニューを提供しています。

また、会員医療従事者を対象とした調査サービス、会員へ医療情報以外のライフサポート情報を提供する「QOL君」などの一般企業向けマーケティング支援サービス、会員医師への求人求職支援サービスを行う「m3.com CAREER」、一般の方々からの健康や疾病に関する質問に「m3.com」登録医師が回答する「AskDoctors」(http://www.AskDoctors.jp/)、女性のための健康管理・美容促進サポートサイト「AskMoon女性の医学」(http://askmn.jp/)、看護師、薬剤師向けの求人求職支援サービス、診療所の経営をサポートする「m3.com 開業・経営」等の新規サービスの拡充も進めています。

米国においては、「MR君」の米国版である「M3 Messages」サービスの展開が順調に進み、これまで「がん」「リウマチ」「神経科」「循環器」「PCP」等の領域で、6社19薬剤の契約を獲得し、さらに拡大する傾向にあります。

また、IT活用による大規模臨床研究支援活動を行うメビックス株式会社(以下「メビックス」という)については、公開買付け実施とその後の一連のプロセスにより、現在は、当社が全ての議決権を有する完全子会社となっています。なお、当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)においては、平成21年5月～7月のメビックスの連結経営成績及びキャッシュ・フローの状況を反映すると共に、当第2四半期連結会計期間より事業の種類別セグメントを記載しております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりです。

(当期の業績)

(単位:百万円)

	平成21年3月期 第2四半期累計 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	平成22年3月期 第2四半期累計 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	比較増減		(参考) 平成21年3月期 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
売上高	4,094	5,001	+906	+22.1%	8,534
営業利益	1,858	2,077	+218	+11.8%	3,990
経常利益	1,970	2,058	+88	+4.5%	4,170
四半期(当期)純利益	1,063	1,187	+124	+11.7%	2,363

(事業の種類別セグメントの業績)

(単位:百万円)

		平成21年3月期 第2四半期累計 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	平成22年3月期 第2四半期累計 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	比較増減		(参考) 平成21年3月期 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
医療 ポータル	医療関連会社マーケティング支援	2,841	3,044	+202	+7.1%	5,812
	調査	504	604	+99	+19.8%	1,052
	その他	748	942	+193	+25.8%	1,669
	売上高	4,094	4,590	+496	+12.1%	8,534
	営業利益	1,858	2,439	+581	+31.3%	3,990
エビデンスソリューション	売上高	—	410	—	—	—
	営業利益	—	△159	—	—	—

(注) 1 第1四半期連結会計期間より、メビックスを新たに連結の範囲に含めたことに伴い、従来のインターネットを利用した医療関連事業を「医療ポータル」セグメントとし、メビックスの連結化に伴い新たに加わる大規模臨床研究支援事業等を「エビデンスソリューション」セグメントとしました。なお、前第2四半期連結累計期間においては単一セグメントであったため、当期の配賦不能営業費用にあたる176百万円が前期の医療ポータルセグメントの営業費用に含まれております。これを勘案した実質的な当第2四半期連結累計期間の医療ポータルセグメントの営業利益は前年同期比19.9%増になります。

- 2 第1四半期連結会計期間より、従来「マーケティング支援」分野に区分していたQOL君サービス及び一部の提携企業サービスを「その他」分野に区分することとし、従来の「マーケティング支援」分野を「医療関連会社マーケティング支援」分野に変更しています。これに伴い、当第2四半期連結累計期間の「医療関連会社マーケティング支援」分野の売上高は105百万円減少し、「その他」分野の売上高は105百万円増加しています。また前第2四半期連結累計期間の「医療関連会社マーケティング支援」分野の売上高は101百万円減少し、「その他」分野の売上高は101百万円増加しています。

医療関連会社マーケティング支援分野の売上高は、3,044百万円(前年同期比7.1%増)となりました。国内において、顧客企業数の増加等により、「MR君」サービスの売上高が前年同期比6%増となった他、「m3MT」サービスが順調に推移しました。また、米国事業が着実に拡大し、全体としては前年同期比7.1%の増収となりました。

調査分野の売上高は604百万円(前年同期比19.8%増)となりました。提携企業との連携強化等の要因により、調査サービスを展開する日本、米国の両市場において好調に推移しました。

その他分野の売上高は、942百万円(前年同期比25.8%増)となりました。会員の増加が続く「AskDoctors」や「m3.com CAREER」が好調に推移した他、アイチケット株式会社も増収に貢献しました。

これらの結果、医療ポータルセグメントの売上高は、4,590百万円(前年同期比12.1%増)となりました。

エビデンスソリューションセグメントは、既存の大規模臨床試験の契約に伴う収益が中心となり、売上高は410百万円となりました。

以上の結果、売上高は、5,001百万円(前年同期比22.1%増)となりました。

売上原価については、メビックスの新規連結による影響(348百万円増加)等の要因により、1,346百万円(前年同期比42.3%増)となりました。

販売費及び一般管理費については、メビックスの新規連結による影響(200百万円増加)の他、医療ポータルセグメントにおける業容拡大に伴う人件費や会員向けポイント関連費用の増加等の要因により、1,578百万円(前年同期比22.3%増)となりました。

これらの結果、営業利益は2,077百万円(前年同期比11.8%増)、経常利益は2,058百万円(同4.5%増)、四半期純利益は1,187百万円(同11.7%増)となりました。

また、医療ポータルセグメントは営業利益2,439百万円、エビデンスソリューションセグメントは営業損失159百万円を計上しました。

(所在地別セグメントの業績)

(1) 日本

国内は、医療関連会社マーケティング支援分野、調査分野、その他分野とも好調に推移したほか、メビックスの新規連結の影響により、売上高4,598百万円(前年同期比23.1%増)、営業利益2,332百万円(同12.0%増)となりました。

(2) 北米

北米は、調査サービスが拡大した他、医療関連会社マーケティング支援分野も着実に拡大し、売上高411百万円(前年同期比24.1%増)となりました。また、「M3 Messages」の先行費用が発生していることから、営業損失44百万円(同1百万円悪化)となりました。

(3) その他の地域

その他の地域は、韓国子会社の業績が引き続き低調に推移したことから、売上高36百万円(前年同期比18.3%減)、営業損失5百万円(前年同期比2百万円悪化)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

資産合計は、前連結会計年度末比1,424百万円増の13,966百万円となりました。メビックス株式会社(以下「メビックス」という)に対する公開買付けの実施等により現金及び預金が1,467百万円減少し、メビックスの新規連結の影響等により売掛金が953百万円増加したものの、流動資産は前連結会計年度末比35百万円減の10,053百万円となりました。またメビックスの子会社化に伴いのれんを1,002百万円計上したことを主な要因に、固定資産は前連結会計年度末比1,459百万円増の3,913百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末比1,062百万円増の3,389百万円となりました。メビックスの新規連結の影響等で買掛金が417百万円増加したこと等により、流動負債は前連結会計年度末比976百万円増の2,987百万円となりました。固定負債は、米国SmartestDoc事業の買収に伴う将来債務の公正価値を計上したことを主な要因に、前連結会計年度末比85百万円増の402百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末比362百万円増の10,576百万円となりました。剰余金配当863百万円を行った一方、四半期純利益1,187百万円を計上したことにより利益剰余金が324百万円増加したことが主な要因です。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末残高より1,537百万円減少し、6,464百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,220百万円の収入(前年同期比577百万円の収入増)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益2,073百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額932百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,940百万円の支出(前年同期比1,821百万円の支出増)となりました。メビックスの子会社化における、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,653百万円が発生しています。

財務活動によるキャッシュ・フローは、806百万円の支出(前年同期比41百万円の支出増)となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払828百万円です。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの当期業績については、増収増益となることを見込んでいます。

医療関連会社マーケティング支援分野においては、引き続き「MR君」サービスの利用顧客数及び利用量の増加を中心とした国内事業の継続的な拡大と、米国を中心とした海外事業の成長を見込んでいます。

調査分野においては、製薬企業を中心とした旺盛な需要を背景に、調査サービスの継続的な成長を見込んでいます。

その他分野においては、「AskDoctors」サービスの会員増加をはじめ、各サービスの拡大を見込んでいます。

費用については、更なる成長に向けた積極的な人員増等を計画していますが、既存サービスに直接関連する費用に関しては構造的な変化は見込んでいません。

また、米国「M3 Messages」サービス拡大のための費用の発生も、引き続き見込んでいます。

以上の結果、医療ポータルセグメントは、増収増益を見込んでいます。

なお、新たに連結子会社となったメビックス株式会社については、平成21年5月から平成22年1月の9ヶ月分の業績を、当期の当社グループ業績見通しの対象に含んでおります。

これらを踏まえ、平成22年3月期の業績見通しを、以下のとおりとしております。

(単位 百万円)

	平成21年3月期 実績	平成22年3月期 業績予想	差異
売上高	8,534	11,500	+2,966
営業利益	3,990	4,800	+810
経常利益	4,170	4,800	+630
当期純利益	2,363	2,700	+337

※ 上記業績予想につきましては、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

平成21年3月3日から平成21年4月14日まで、IT活用による大規模臨床研究支援活動を行うメビックス株式会社に対して公開買付けを実施した結果、メビックス株式会社は、平成21年4月21日に当社が株式の85.9%を所有する特定子会社になりました。なお、平成21年9月1日付で、株式追加取得により、当社の持株比率は100%になりました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,723,714	8,191,260
売掛金	2,403,283	1,449,350
商品	6,264	2,025
仕掛品	133,327	41,505
その他	789,030	405,586
貸倒引当金	△2,284	△781
流動資産合計	10,053,334	10,088,948
固定資産		
有形固定資産	※1 188,243	※1 65,988
無形固定資産		
のれん	1,876,141	783,665
その他	305,389	195,557
無形固定資産合計	2,181,530	979,223
投資その他の資産		
投資有価証券	1,025,904	1,173,613
その他	517,869	234,808
投資その他の資産合計	1,543,774	1,408,422
固定資産合計	3,913,547	2,453,634
資産合計	13,966,882	12,542,583
負債の部		
流動負債		
買掛金	528,548	110,967
未払法人税等	963,278	934,442
ポイント引当金	369,604	314,961
その他の引当金	54,749	47,648
その他	1,071,515	603,085
流動負債合計	2,987,695	2,011,105
固定負債		
退職給付引当金	6,824	4,426
繰延税金負債	262,286	311,137
その他	133,078	1,085
固定負債合計	402,190	316,650
負債合計	3,389,886	2,327,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,189,651	1,187,576
資本剰余金	1,418,046	1,415,971
利益剰余金	7,341,419	7,016,995
株主資本合計	9,949,117	9,620,543
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	420,826	497,481
為替換算調整勘定	△79,259	△87,859
評価・換算差額等合計	341,566	409,622
新株予約権	23,310	12,901
少数株主持分	263,001	171,759
純資産合計	10,576,996	10,214,827
負債純資産合計	13,966,882	12,542,583

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	4,094,841	5,001,823
売上原価	946,144	1,346,185
売上総利益	3,148,697	3,655,637
販売費及び一般管理費	※1 1,289,936	※1 1,578,141
営業利益	1,858,760	2,077,495
営業外収益		
受取利息	25,110	10,705
投資有価証券売却益	75,576	6,226
その他	18,123	5,645
営業外収益合計	118,810	22,577
営業外費用		
為替差損	—	29,783
持分法による投資損失	5,119	—
投資事業組合運用損	1,878	—
その他	161	11,559
営業外費用合計	7,159	41,343
経常利益	1,970,412	2,058,729
特別利益		
持分変動利益	—	19,993
特別利益合計	—	19,993
特別損失		
持分変動損失	—	5,430
減損損失	12,309	—
特別損失合計	12,309	5,430
税金等調整前四半期純利益	1,958,103	2,073,292
法人税、住民税及び事業税	841,741	956,200
法人税等調整額	43,624	△70,018
法人税等合計	885,366	886,181
少数株主利益	9,702	△810
四半期純利益	1,063,034	1,187,921

(第2四半期連結会計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,128,275	2,802,424
売上原価	491,934	868,386
売上総利益	1,636,340	1,934,038
販売費及び一般管理費	※1 695,565	※1 920,795
営業利益	940,774	1,013,243
営業外収益		
受取利息	—	4,616
投資有価証券売却益	75,576	2,831
その他	15,519	2,914
営業外収益合計	91,095	10,363
営業外費用		
為替差損	8,412	24,993
持分法による投資損失	3,998	10,234
その他	2,032	7,306
営業外費用合計	14,444	42,534
経常利益	1,017,425	981,072
特別利益		
持分変動利益	—	19,993
特別利益合計	—	19,993
特別損失		
持分変動損失	—	5,430
減損損失	12,309	—
特別損失合計	12,309	5,430
税金等調整前四半期純利益	1,005,116	995,634
法人税、住民税及び事業税	510,469	551,932
法人税等調整額	△50,085	△123,926
法人税等合計	460,384	428,005
少数株主利益	6,961	△5,940
四半期純利益	537,770	573,570

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,958,103	2,073,292
減価償却費	36,201	57,152
減損損失	12,309	—
のれん償却額	34,928	48,517
投資有価証券売却損益(△は益)	△75,576	△6,226
投資事業組合運用損益(△は益)	1,878	1,723
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△551	1,556
ポイント引当金の増減額(△は減少)	29,912	55,065
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,259	2,015
その他の引当金の増減額(△は減少)	18,487	8,270
受取利息及び受取配当金	△33,018	△12,834
為替差損益(△は益)	—	29,783
持分法による投資損益(△は益)	5,119	3,774
持分変動損益(△は益)	—	△14,562
売上債権の増減額(△は増加)	△72,212	48,024
たな卸資産の増減額(△は増加)	△19,325	29,678
その他の流動資産の増減額(△は増加)	2,322	31,308
仕入債務の増減額(△は減少)	△21,382	27,349
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△217,605	△257,743
その他	△8,702	13,137
小計	1,652,147	2,139,283
利息及び配当金の受取額	33,018	14,229
法人税等の支払額	△1,041,786	△932,898
営業活動によるキャッシュ・フロー	643,379	1,220,614
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△28,827	△9,127
定期預金の払戻による収入	—	4,662
有形固定資産の取得による支出	△8,323	△3,522
無形固定資産の取得による支出	△40,057	△80,850
敷金及び保証金の差入による支出	△6,765	△76,775
敷金及び保証金の回収による収入	289	3,954
投資有価証券の取得による支出	△57,403	△25,000
投資有価証券の売却による収入	110,476	12,879
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△88,466	△1,653,964
貸付けによる支出	—	△112,579
その他	—	75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△119,078	△1,940,249
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	18,347	4,150
配当金の支払額	△782,784	△828,097
少数株主への配当金の支払額	—	△14,700
少数株主からの払込みによる収入	—	32,250
財務活動によるキャッシュ・フロー	△764,436	△806,396
現金及び現金同等物に係る換算差額	△39,484	△11,270
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△279,618	△1,537,301
現金及び現金同等物の期首残高	6,778,327	8,001,977
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 6,498,709	※1 6,464,675

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

当社グループは、インターネットを利用した医療関連事業に特化しているため1つのセグメントしかありませんので、記載を省略しています。

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

	医療ポータル (千円)	エビデンス ソリューション (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,391,548	410,876	2,802,424	—	2,802,424
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—
計	2,391,548	410,876	2,802,424	—	2,802,424
営業利益(△損失)	1,271,730	△159,862	1,111,868	(98,625)	1,013,243

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

当社グループは、インターネットを利用した医療関連事業に特化しているため1つのセグメントしかありませんので、記載を省略しています。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	医療ポータル (千円)	エビデンス ソリューション (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,590,946	410,876	5,001,823	—	5,001,823
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—
計	4,590,946	410,876	5,001,823	—	5,001,823
営業利益(△損失)	2,439,881	△159,862	2,280,019	(202,524)	2,077,495

(注) 1 事業区分の方法

事業は、事業の製造方法及び製造過程の類似性を考慮して区分しています。

2 各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
医療ポータル	MR君等の医療関連会社向けマーケティング支援、調査、AskDoctors等の コンシューマ向けサービス、QOL君・開業経営サービス等の非製薬会社向 けマーケティング支援等
エビデンスソリューション	CapToolを活用した臨床研究支援等の臨床研究等に関連する事業等

3 事業区分の方法の変更

当社グループは、従来、インターネットを利用した医療関連事業に特化しており1つのセグメントしかありませんでしたが、第1四半期連結会計期間より大規模臨床研究支援事業を営むメビックス株式会社を新たに連結の範囲に含めたことに伴い、従来のインターネットを利用した医療関連事業を「医療ポータル」セグメントとし、メビックス株式会社の連結化に伴い新たに加わる大規模臨床研究支援事業等を「エビデンスソリューション」セグメントとしました。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,926,141	176,126	26,007	2,128,275	—	2,128,275
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	12,497	—	—	12,497	(12,497)	—
計	1,938,638	176,126	26,007	2,140,772	(12,497)	2,128,275
営業利益(△損失)	1,035,685	△2,992	△106	1,032,586	(91,812)	940,774

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,561,069	224,084	17,270	2,802,424	—	2,802,424
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	30,896	—	1,782	32,678	(32,678)	—
計	2,591,966	224,084	19,052	2,835,103	(32,678)	2,802,424
営業利益(△損失)	1,120,354	△7,305	△1,403	1,111,645	(98,402)	1,013,243

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,718,073	331,709	45,058	4,094,841	—	4,094,841
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	16,967	—	—	16,967	(16,967)	—
計	3,735,040	331,709	45,058	4,111,809	(16,967)	4,094,841
営業利益(△損失)	2,082,524	△43,061	△3,823	2,035,638	(176,878)	1,858,760

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,555,131	411,680	35,011	5,001,823	—	5,001,823
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	43,510	—	1,782	45,292	(45,292)	—
計	4,598,641	411,680	36,793	5,047,115	(45,292)	5,001,823
営業利益(△損失)	2,332,059	△44,513	△5,879	2,281,666	(204,171)	2,077,495

(注) 1 国または地域は、地理的近接度により区分しています。

2 日本以外の区分に属する主な国または地域は次のとおりです。

北米：米国

その他の地域：韓国

〔海外売上高〕

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	176,126	26,007	202,133
II 連結売上高(千円)			2,128,275
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	8.3	1.2	9.5

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	224,084	17,270	241,354
II 連結売上高(千円)			2,802,424
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	8.0	0.6	8.6

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	331,709	45,058	376,768
II 連結売上高(千円)			4,094,841
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	8.1	1.1	9.2

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	411,680	35,011	446,692
II 連結売上高(千円)			5,001,823
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	8.2	0.7	8.9

(注) 1 国または地域は、地理的近接度により区分しています。

2 各区分に属する主な国または地域は次のとおりです。

北米：米国

その他の地域：韓国

3 海外売上高は、連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
1 連結の範囲に関する事項の変更	<p>(1) 連結の範囲の変更</p> <p>第1四半期連結会計期間より、メビックス株式会社、クリニカルポーター株式会社、クリノグラフィ株式会社及びケルコム株式会社については新たに株式を取得したことから、連結の範囲に含めています。</p> <p>(2) 変更後の連結子会社の数</p> <p>9社</p>
2 連結子会社の四半期決算日等に関する事項の変更	<p>第1四半期連結会計期間より連結子会社としたメビックス株式会社、クリニカルポーター株式会社及びケルコム株式会社の第2四半期決算日は10月31日であり、クリノグラフィ株式会社の第2四半期決算日は9月30日です。四半期連結財務諸表作成に当たって、メビックス株式会社、クリニカルポーター株式会社及びケルコム株式会社については7月31日現在の財務諸表を使用し、クリノグラフィ株式会社については6月30日現在の財務諸表を使用しています。ただし、四半期連結決算日(9月30日)までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っています。</p> <p>また、M3 USA Corporation(旧 So-net M3 USA Corporation)は決算日を3月31日から12月31日に、アイチケット株式会社は決算日を5月31日から3月31日に変更しました。四半期連結財務諸表作成に当たって、当該会社については、四半期連結決算日(9月30日)現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しています。</p>

【表示方法の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
(四半期連結損益計算書)	<p>前第2四半期連結累計期間において独立掲記しておりました営業外費用の「持分法による投資損失」及び「投資事業組合運用損」は、当第2四半期連結累計期間において金額的重要性が乏しくなったため、営業外費用の「その他」に含めて表示しています。</p> <p>なお、当第2四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれている「持分法による投資損失」及び「投資事業組合運用損」は、それぞれ3,774千円、1,723千円です。</p>
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)	<p>前第2四半期連結累計期間において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりました「為替差損益(△は益)」は、当第2四半期連結累計期間において金額的重要性が増したため、区分掲記しています。</p> <p>なお、前第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めておりました「為替差損益(△は益)」は、△8,823千円です。</p>

	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
(四半期連結損益計算書)	<p>前第2四半期連結会計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「受取利息」は、当第2四半期連結会計期間において営業外収益総額の100分の20を超えたため、区分掲記しています。</p> <p>なお、前第2四半期連結会計期間の営業外収益の「その他」に含まれている「受取利息」は、13,111千円です。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
※1 有形固定資産の減価償却累計額は、221,595千円です。	※1 有形固定資産の減価償却累計額は、132,176千円です。

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。	※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。
報酬・給与 387,658千円	報酬・給与 499,896千円
販売促進費 309,520千円	販売促進費 307,522千円
ポイント引当金繰入額 29,912千円	ポイント引当金繰入額 55,068千円
賞与引当金繰入額 26,112千円	賞与引当金繰入額 23,891千円

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。	※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。
報酬・給与 205,262千円	報酬・給与 294,656千円
販売促進費 140,909千円	販売促進費 141,020千円
ポイント引当金繰入額 39,335千円	ポイント引当金繰入額 52,476千円
賞与引当金繰入額 12,379千円	賞与引当金繰入額 8,364千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在)	※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年9月30日現在)
現金及び預金勘定 6,762,322千円	現金及び預金勘定 6,723,714千円
預入期間3ヶ月超の定期預金 △263,612千円	預入期間3ヶ月超の定期預金 △259,038千円
現金及び現金同等物 6,498,709千円	現金及び現金同等物 6,464,675千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

1 発行済株式の種類及び総数

普通株式 261,690株

2 新株予約権等に関する事項

ストック・オプションとしての新株予約権

新株予約権の四半期連結会計期間末残高 親会社 23,310千円

(注) スtock・オプションとしての新株予約権の一部は、権利行使期間の初日が到来していません。

3 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年4月23日 取締役会	普通株式	863,497	3,300	平成21年3月31日	平成21年6月8日	利益剰余金

(ストック・オプション等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

当第2四半期連結会計期間に付与したストック・オプションの内容

	第12回新株予約権
付与対象者の区分別人数	当社取締役6名、当社子会社取締役3名、当社従業員3名
株式の種類別のストック・オプションの付与数(注)	普通株式 155株
付与年月日	平成21年8月26日
権利確定条件	権利確定日(権利行使期間の初日以降)において、当社もしくは当社の子会社等の役員または使用人のいずれの地位を有していること。
対象勤務期間	平成21年8月26日～平成23年6月30日
権利行使期間	平成23年7月1日～平成51年5月31日 ただし、権利確定後退職(退任)した場合は、退職(退任)日より6ヶ月以内まで行使可能。
権利行使価格	1円
付与日における公正な評価単価	264,207円

(注) 株式数に換算して記載しています。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

1 パーチェス法の適用

(1) 企業結合の概要

相手企業の名称	SmartestDoc, LLC
取得した事業の内容	がん専門医向けクイズサービスの運営事業
企業結合を行った主な理由	米国での医療従事者向けウェブサイトMDLinx.comの、がん領域におけるドクターカバレッジをさらに拡大するとともに、サービスの魅力度を高め、米国での事業展開を加速するため。
企業結合日	平成21年8月4日
企業結合の法的形式	当社100%子会社であるM3 USA Corporationによる事業譲受
結合後企業の名称	M3 USA Corporation

(2) 四半期連結会計期間及び四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる取得した事業の業績の期間

自平成21年8月4日至平成21年9月30日

(3) 取得した事業の取得原価及びその内訳

取得した事業の取得原価 179,853千円

取得原価の内訳

事業譲受の対価(現金) 47,625千円

事業譲受の対価(条件付取得対価) 132,228千円

(注) 事業譲受の対価には、取得会社である海外子会社が米国会計基準に基づき計上した、特定のマイルストーン達成に伴い発生する条件付取得対価の公正価値132,228千円を含めています。

(4) 発生したのれんの金額等

のれん金額 138,111千円

発生原因

M3 USA Corporationの今後の事業展開によって期待される将来の収益力に関連して発生したもの

償却方法及び償却期間 のれん金額については、20年間で均等償却しています。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

固定資産 39,226千円

資産計 39,226千円

(6) 当該企業結合が連結会計年度の開始の日に完了したと仮定したときの当第2四半期連結累計期間の売上高等の概算額

売上高等に及ぼす影響の概算額は軽微であるため記載を省略しています。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 39,323.95円	1株当たり純資産額 38,331.94円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	10,576,996	10,214,827
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	286,312	184,661
(うち新株予約権)	(23,310)	(12,901)
(うち少数株主持分)	(263,001)	(171,759)
普通株式に係る四半期末(期末)の純資産額(千円)	10,290,684	10,030,165
1株当たり純資産額の算定に用いられた四半期末(期末)の普通株式の数(株)	261,690	261,666

2 1株当たり四半期純利益金額等

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 4,072.51円	1株当たり四半期純利益金額 4,539.63円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 4,017.00円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 4,514.29円

(注) 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	1,063,034	1,187,921
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	1,063,034	1,187,921
期中平均株式数(株)	261,027	261,678
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	3,607	1,469
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	2,059.44円	1株当たり四半期純利益金額	2,191.79円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	2,032.03円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	2,167.59円

(注) 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益 (千円)	537,770	573,570
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益 (千円)	537,770	573,570
期中平均株式数 (株)	261,125	261,690
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (株)	3,522	2,922
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。